

事業番号	事務事業名	スポーツ少年団補助金	所管課名	生涯学習課	令和 3 年度課長名	黒瀬 豊
06566	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	池田 亜加理
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町スポーツ少年団への活動補助金を交付する。団員のスポーツ安全保険加入・総会・結団式の開催。団員登録・認定指導者講習会案内・スポーツ少年団大会案内を行う。(1団体・7協議会で構成)	昭和39年、町内各地域でのスポーツを通じた小・中学生の健全育成を目的にスポーツ少年団活動が始められ、行政の財政支援が開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内の小中学校の児童・生徒数	ア 小学校の児童	人	見込 実績	650 616	650 659	650 658	640	640
イ	イ 中学校の生徒	人	見込 実績	320 296	320 307	320 314	310	310
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 小学生・中学生にスポーツを行うことで健全に育ててもらおう	ア 団員登録数(小学生・中学生)	人	目標 実績 達成率	220 252 114.5%	220 241 109.5%	220 213 96.8%	220	220
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 団員登録	ア 団員登録者数	人	目標 実績 達成率	230 252 109.6%	230 241 104.8%	230 213 92.6%	230	220
イ スポーツ保険加入事務	イ 安全保険加入者数	人	目標 実績 達成率	290 265 91.4%	290 256 88.3%	280 244 87.1%	270	260
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	07	目	01	大事業	中事業	03	02	予算上の事業名	06566											
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費						スポーツ少年団補助金												
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比												
国庫支出金							国庫支出金																		
県支出金							県支出金																		
町債							町債																		
その他特財							その他特財																		
一般財源	1,611	1,702	1,702	1,702	1,702		一般財源	1,611	1,522	1,564	1,702	1,702	42												
合計	1,611	1,702	1,702	1,702	1,702		合計(A)	1,611	1,522	1,564	1,702	1,702	42												
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2	2												
	延べ業務事務時間						50	50	60	60	60	60	10												
	人件費計(千円)(B)						175	167	201	205	205	205	34												
	最終予算額						1,702 千円	予算執行率	91.8%	トータルコスト(A+B)		1,786	1,689	1,765	1,907	1,907	76								
主な支出事業内容(予算)	補助金						1,702 千円						主な支出事業内容(決算)	補助金						1563 千円					

事業番号	06566	事務事業名	スポーツ少年団補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 総体的な少子化により、登録団員数は緩やかな減少傾向にある。保護者の負担(送迎)も大きく団員1人あたりの活動コストは増加傾向にある。競技によっては競技団体登録がスポ少登録に優先するものがあり、徐々にスポ少登録の意義が薄れている現状がある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 過疎地域の子どものスポーツ参加の支援が可能となるように、単位団の登録単位を町全体1単位団へ変更した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 地域で小学生の健全育成に取り組むことは大きな意義があるので、今後も財政支援を継続することが必要であるとの声が主流である。(指導者・保護者)

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 スポーツを通じた小中学生の健全育成とスポーツとの振興を目的としており、政策体制に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町内の小中学生が主な対象としており妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町内の小中学生を対象としており妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 地域によっては、団員不足・指導者不足のため十分な活動ができていないケースがある。地域と行政との連携を強化し、相互に協力することで団員の増加の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 廃止した場合、少年層のスポーツ活動の低下を招き、健全育成活動の核となる地域の交流や連携を阻害されることになる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 スポーツを通じた少年層の健全育成には大きな意義があり、財政的に活動支援をしていく方針は堅持する必要がある。スポーツ少年団組織の構成を変えることで財政支援の有効性を高めることが可能と思われる。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 自己負担と公的支援部分の区別を明確にした上で、補助金の使途限定と効率的支出により一定の削減を行う余地はある一方で、気象条件など少年層のスポーツ活動を行う環境の変化によるコスト増加が生じており、全体では相殺状況である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事務作業を見直し、行政支援の区分を限定し明確化することをさらに推し進めることができれば延べ業務時間短縮が可能となる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町内各地のスポーツ少年団活動の実態に沿う形で補助金交付がなされ、配分額の検討も毎年行っており受益負担の公平性は十分保たれている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																								
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	登録団員数の緩やかな減少傾向に変化はないが、地域を超えて活動をする子どもの数が増加している。また、逆に現在では近隣の市町村の子どもが在住地域のスポーツ少年団に所属せず、鏡野町スポーツ少年団の一員として活動している子もいる。平成28年度からスポーツ少年団組織の編成について、地域単位から競技単位へ移行したが、今後も子どもたちが活動しやすい環境を整備していく必要がある。																								
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																								
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 スポ少関係者への認定指導者講習会への参加を促し、指導力向上を図る。																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
単年度で役員の交代があるため関係者間での共通理解が少ない。指導者へのスポーツ少年団活動の理解を深めるための地盤作りが必要である。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																								